平成 30 年度事業 事後評価・決算

事務事業マネジメントシート

1	事務事業名	農地集積・集約化対	対策事業	所属部	農林振興部	所属課 農政課	
総		〈Ⅴ〉挑戦し活力を産る	みだすまち≪産業≫	所属G	農業G	課長名 熱田 勇二	
合		〈36〉農業の振興		担当者名	小林 弘典	電話番号 0854-40-1051	
計	目対市内の	市内の農家 意 安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農				(内線) 2415	
画	的 家 ""	図案所得が同上する。			会計 款 大事業 大	"	
14	h	〈107〉農業基盤の整位	蕭	予算科目	0 1 3 0 0 1 業	经	
糸	目 対 担い手	農家・担い手以外農家	意 農業の生産性を維持・向上できるようにする。		項 目 中事業 中 0 5 2 5 3 7 業	中事 農地集積・集約化対策事業補 第4 助金	

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間

☑ 単年度繰返

(26年度~)

□ 期間限定複数年度

(年度~年度)

② 事業内容

(期間限定複数年度事業は全体像を記述)

地域における話し合い(人・農地プラン)に基づき、農地中間管理機構に農地を貸し付けて担い手への農地集積・集約化に協力する農地の出し手に対して支援を行う。

(2)事務事業の手段・指標

① 主た汗動

30年度実績(30年度に行った主な活動) 農地中間管理事業を活用して、南村地区・箱 渕地区(大東町)、下神原・三代・愛宕地区 (加茂町)、里坊地区(三刀屋町)及び川尻地

手区(吉田町)の計5地区内の農地の機構への 貸付件数305件(農地数1211筆)の預け入れ と、担い手への貸付を行った。

併せて、新規に集積した地域及び個人に機 構集積協力金の支払を行った。 元年度計画(元年度に計画する主な活動) 圃場整備に伴う利用集積と再設定に伴う 担い手への利用権設定を行う。

	②活動指標	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (計画)
ア	設定件数	件	345	392	496	400
イ	設定筆数	筆	1,053	1,086	1,465	1,200
ゥ						
ı						

(3)事務事業の目的・指標

(•	7) 争伤争未以自引"拍惊							
	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (計画)
		ア	経営耕地のある農家	数	3,019	3,019	3,019	3,019
	経営耕地のある農家	イ						
目		ゥ						
的	② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (計画)
	農地中間管理機構へ農用地集積を促進することにより、担い手への農地集積を図る。	ア	中間管理事業での設定件数	件	91	230	305	200
		イ	中間管理事業での設定筆数	筆	313	735	1,211	600
		ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(30年度決算)	(② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
①地域集積協力金	6,221千円		国庫支出金	千円				
②経営転換協力金	698千円		県支出金	千円	4,710	18,845	7,045	5,500
③耕作者集積協力金	126千円		地方債 力	千円				
合 計	7,045千円	費訓	7 Z D M	千円				
			一般財源	千円				
			事業費計 (A)	千円	4,710	18,845	7,045	5,500
		人	正規職員従事人数	人	1	1	1	
		件	延べ業務時間	時間	300	300	300	
		費	人件費計(B)	千円	1,190	1,223	1,300	
		 	ータルコスト(A)+(B)	千円	5,900	20,068	8,345	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)

② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革 改善をしているか?)

③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して 市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や 要望が寄せられているか?)

米価下落や高齢化等により耕作しない農家 が増加しており、農地中間管理機構への貸 出希望農家数も増加している。

山布主展家数も増加している。 しかし、借り人となる担い手が不足しているため、国は農地集積を重点課題として位置づけ、各種制度により支援を出し手に集中する 政策に転換している。

国等の各種制度を活用して、農地中間管理機構への利用権設定に努めてきた。

農地中間管理機構への申出書及び添付書類を簡略化出来ないかとの声があるが、受付時の確認や 農業委員会の審査において必要な書類であり、簡 略化は出来ない。

雲南市(H27年2月改正版)ver.1.3

所属部 農林振興部

所属課 <mark>農政課</mark>

2	事後評価	(SEE)
---	------	-------

2	事後	評価【SEE】									
		策体系との整	ふ合性 この	の事務事業の目的	内は市の政策体	系に結びつくか?	意図することが結びついている	か?	見直し余地があるとする理由		
	Г	見直し余地			びついてい		* 余地がある				
Α	-	プログスと	13 U) U	- 414	0.20.00	0		1			
目	② / }	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して達成する目的か?									
町						(\$5/\$0.07)) : 1))	* 余地がある				
妥		見直し余地は	がある	☑ 安	当である		* 未地かめる	の場合一			
当	<u> </u>		and the								
性	③ 対	象・意図の妥	当性 対象	を限定・追加す	る必要はない	か?意図を限定	拡充する必要はないか?				
'-		見直し余地は	がある	☑ 適	切である		* 余地がある	る場合🛶			
	④ 成	果の向上余地	也 成果を向	上させる余地は	はあるか? 成	果を向上させるた	め現在より良いやり方ははない	いか? 何が原	因で成果向上が期待できないのか?		
ı		向上余地が			農	地中間管理機	養構の推進員と共同して	市内の貸出	希望農地の掘り起しを行うこ	とによ	
		向上余地が	ない		LI		地集積に繋げる余地が				
			•		理由	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					
ŀ	⑤ 鹵	止.休止の成	甲への影響	郷 - の事数5		・山上も一	響の有無とその内容は?				
ŀ		影響無	木'、"00分	音 この争伤			事務であり、廃止はでき	F+21 \			
В		影響有			五	アに奉 ノいだ	事物でめり、廃止はでき	·40°			
有	•	彩音 有			理由						
効											
性	@ 1/IT	·//// +	> -+-1	# a = /sk kil							
ŀ	(6) 類	似事業との統					の手段(類似事業)はないか? る	ある場合、その	類似事業との統廃合・連携ができるか?		
		他に手段が		* ある場合 📫 (
		□ 統原	廃合・連携 <i>た</i>	ができない	法	令に基づいた	事務であり、他に手段に	はない。			
					理由						
	~	他に手段が	ない		在山						
	⑦事	業費の削減分	永地 成果	を下げずに事業	費を削減でき	ないか?(仕様や	工法の適正化、住民の協力な	ど)			
	⑦事	業費の削減分 削減余地が		を下げずに事業			工法の適正化、住民の協力なは は法令で定められており、		 ない。		
		削減余地が	ある	を下げずに事業	協						
			ある	を下げずに事業							
С		削減余地が	ある	を下げずに事業	協						
C 効	 \sigma	削減余地が 削減余地が	ある ない		理由	力金の単価に	は法令で定められており、	、削減余地			
C 効率	 \sigma	削減余地が 削減余地が 件費(延べ業	ある ない 務時間)の		理由成果を下げず	力金の単価に	t法令で定められており、 で延べ業務時間を削減できなし	、削減余地に	以外や外部委託ができないか?		
C 効	8 人	削減余地が 削減余地が 件費(延べ業 削減余地が	ある ない <u>務時間)の</u> ある		理由成果を下げず	力金の単価に	は法令で定められており、	、削減余地に	以外や外部委託ができないか?		
C 効率	8 人	削減余地が 削減余地が 件費(延べ業	ある ない <u>務時間)の</u> ある		理由成果を下げず	力金の単価に	t法令で定められており、 で延べ業務時間を削減できなし	、削減余地に	以外や外部委託ができないか?		
C 効率	8 人	削減余地が 削減余地が 件費(延べ業 削減余地が	ある ない <u>務時間)の</u> ある		成果を下げる 効	力金の単価に	t法令で定められており、 で延べ業務時間を削減できなし	、削減余地に	以外や外部委託ができないか?		
C効率性	 	削減余地が 削減余地が 件費(延べ業 削減余地が 削減余地が	ある ない <u>務時間)の</u> ある ない)削減余地	成果を下げず 効理由	力金の単価で でにやり方の工夫 率的な事務制	は法令で定められており、 で延べ業務時間を削減できない に行に努めており、削減え	、削減余地 いか? _{正職員} 余地はない。	以外や外部委託ができないか?		
C効率性	 	削減余地が 削減余地が 件費(延べ業 削減余地が 削減余地が	ある ない <u>務時間)の</u> あい 負担の適)削減余地	成果を下げず 効理由	力金の単価に でにやり方の工夫 率的な事務報	は法令で定められており、 で延べ業務時間を削減できない ででに努めており、削減分のではないか?	、削減余地 いか? 正職員 余地はない。 受益者負担が	以外や外部委託ができないか?		
C効率性	8人	削減余地が 削減余地が 件費(延べ業 削減余地が 削減余地が 直機会・費用 見直し余地	ある ない <u>務時間)の</u> ある ない <u>負担の適</u> がある)削減余地	成果を下げず 効理由	力金の単価に でにやり方の工夫 率的な事務報	は法令で定められており、 で延べ業務時間を削減できない に行に努めており、削減え	、削減余地 いか? 正職員 余地はない。 受益者負担が	以外や外部委託ができないか?		
C 効率性 D 公	8人	削減余地が 削減余地が 件費(延べ業 削減余地が 削減余地が	ある ない <u>務時間)の</u> ある ない <u>負担の適</u> がある)削減余地	成果を下げず効理由	力金の単価に でにやり方の工夫 率的な事務報	は法令で定められており、 で延べ業務時間を削減できない ででに努めており、削減分のではないか?	、削減余地 いか? 正職員 余地はない。 受益者負担が	以外や外部委託ができないか?		
C 効率性 D 公平	8人	削減余地が 削減余地が 件費(延べ業 削減余地が 削減余地が 直機会・費用 見直し余地	ある ない <u>務時間)の</u> ある ない <u>負担の適</u> がある)削減余地	成果を下げず 効理由	力金の単価に でにやり方の工夫 率的な事務報	は法令で定められており、 で延べ業務時間を削減できない ででに努めており、削減分のではないか?	、削減余地 いか? 正職員 余地はない。 受益者負担が	以外や外部委託ができないか?		
C 効率性 D 公	8人	削減余地が 削減余地が 件費(延べ業 削減余地が 削減余地が 直機会・費用 見直し余地	ある ない <u>務時間)の</u> ある ない <u>負担の適</u> がある)削減余地	成果を下げず効理由	力金の単価に でにやり方の工夫 率的な事務報	は法令で定められており、 で延べ業務時間を削減できない ででに努めており、削減分のではないか?	、削減余地 いか? 正職員 余地はない。 受益者負担が	以外や外部委託ができないか?		
C 効率性 D 公平性	8人	削減余地が 削減余地が 料減余地が 削減余地が 単減余地が 立機会・費用 見直し余地に 公平・公正で	ある。 務時間)の 務あない 負担の適う がある	正化余地	成果を下げず効理由	力金の単価に でにやり方の工夫 率的な事務報	は法令で定められており、 で延べ業務時間を削減できなし 行に努めており、削減分 っていて不公平ではないか? ・ むが対象であり、公平・公	、削減余地(いか? 正職員) 余地はない。 受益者負担が 公正である。	以外や外部委託ができないか? 。 公平・公正か?		
C 効率性 D 公平性	8人	削減余地が 削減余地が 件費(延べ業 削減余地が 削減余地が 直機会・費用 見直し余地	ある。 務時間)の 務あない 負担の適う がある	正化余地	成果を下げず効理由	力金の単価に でにやり方の工夫 率的な事務報	は法令で定められており、 で延べ業務時間を削減できない。 (行に努めており、削減分のではないか? きまかが対象であり、公平・公金が対象であり、公平・公金のでは、	、削減余地(いか?正職員) 余地はない。 受益者負担が 公正である。	以外や外部委託ができないか? 公平・公正か?	拡大と	
C 効率性 D 公平性	8人 (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	削減余地が 削減余地が 削減余地が 削減余地が 削減余地が 益機会・費用 見直し公正で 次評価者として	務時間)の務時間)の負担の適ごがあるであるでの評価	正化余地	成果を下げず効理由 事業内容が一市理由	力金の単価になります。本的な事務報の受益者に偏々内全域の農地	は法令で定められており、 で延べ業務時間を削減できない。 は行に努めており、削減分 っていて不公平ではないか? むが対象であり、公平・公 とが対象であり、公平・公 担い手への農地集積	、削減余地(いか?正職員) 会地はない。 受益者負担が 会立である。 総括(根拠と	以外や外部委託ができないか? 公平・公正か? 二理由) により、農業経営の安定又は	拡大と	
C効率性 D公平性 評価	8 8 8 0 9 9 0 1 1 1	削減余地が 削減余地が 削減余地が 削減余地が 益機会・費用 見の公正で 次評価者として 欠評価者として	務時間)の 務時間)の 負担の適う がある である	正化余地	成果を下げず効 理由 事業内容が一市 理由 見直し気	力金の単価でである。 でにやり方の工夫を本的な事務報の受益者に偏っ 内全域の農地	は法令で定められており、 で延べ業務時間を削減できない。 は行に努めており、削減分 っていて不公平ではないか? むが対象であり、公平・公 とが対象であり、公平・公 担い手への農地集積	、削減余地(いか?正職員) 会地はない。 受益者負担が 会立である。 総括(根拠と	以外や外部委託ができないか? 公平・公正か?	拡大と	
C 効率性 D 公平性 評価の	8 人 マ 9 受 マ イ 1 1;	削減余地が 削減余地が 件費(延余地が 削減余・費余し 受いでで を 関のでする。 として を としてで を としてで を としてで を としてで を としてで を としてで を としてで を としてで を としてで を としてで を としてで を としてで を としてで を と の と の と の と の と の と の と の と の と と の と の と と の と の と と の と	務時間)の務時るい負担の適であるでの評価編ご i	正化余地 ままま ままま ままま しょうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゅう しゅう	理由 成果を下げず効 理由 事業内容が一市 直直しい	力金の単価に にやり方の工夫 率的な事務報 部の受益者に傷 内全域の農地	は法令で定められており、 で延べ業務時間を削減できない。 は行に努めており、削減分 っていて不公平ではないか? むが対象であり、公平・公 とが対象であり、公平・公 担い手への農地集積	、削減余地(いか?正職員) 会地はない。 受益者負担が 会立である。 総括(根拠と	以外や外部委託ができないか? 公平・公正か? 二理由) により、農業経営の安定又は	拡大と	
C 効率性 D 公平性 評価の総	8 人 	削減余地がが 件費(延余地がが 削削減余・費(延余地がが が 費見のでである。 要別である。 を表しいでは、 でいる。 を表しいである。 を表しいできます。 をます。 をまする。 をまする。 をます。 をまする。 をます。 をまする。 をます。 をます。 をます。 をます。 をまする。 をます。 をます。 をます。 をます。 をます。 をます。 をます。 をます	あない <u>務</u> あない <u>負</u> がであるい <u>負がである</u> <u>▼ ▼ </u> ▼ ▼ ▼ 1 ▼ 1 ▼ 1 ▼ 1 ▼ 1 ▼ 1 ▼ 1 ▼	正化余地 集 切切切切	理由 成果を下げ効 理由	力金の単価に でにやり方の工夫 下率的な事務報 部の受益者に傷力 中のを域の農地 もいりり いたもりり	は法令で定められており、 で延べ業務時間を削減できない。 は行に努めており、削減分 っていて不公平ではないか? むが対象であり、公平・公 とが対象であり、公平・公 担い手への農地集積	、削減余地(いか?正職員) 会地はない。 受益者負担が 会立である。 総括(根拠と	以外や外部委託ができないか? 公平・公正か? 二理由) により、農業経営の安定又は	拡大と	
C 効率性 D 公平性 評価の	8 人 	削減余地が 削減余地が 件費(延余地が 削減余・費余し 受いでで を 関のでする。 として を としてで を としてで を としてで を としてで を としてで を としてで を としてで を としてで を としてで を としてで を としてで を としてで を としてで を と の と の と の と の と の と の と の と の と と の と の と と の と の と と の と	務時間)の務時るい負担の適であるでの評価編ご i	正化余地 集 切切切切	理由 成果を下げず効 理由 事業内容が一市 直直しい	力金の単価に でにやり方の工夫 下率的な事務報 部の受益者に傷力 中のを域の農地 もいりり いたもりり	は法令で定められており、 で延べ業務時間を削減できない。 は行に努めており、削減分 っていて不公平ではないか? むが対象であり、公平・公 とが対象であり、公平・公 担い手への農地集積	、削減余地(いか?正職員) 会地はない。 受益者負担が 会立である。 総括(根拠と	以外や外部委託ができないか? 公平・公正か? 二理由) により、農業経営の安定又は	拡大と	
C効率性 D公平性 評価の総	8 人 	削減余地がが 件費(延余地がが 削削減余・費(延余地がが が 費見のでである。 要別である。 を表しいでは、 でいる。 を表しいである。 を表しいできます。 をます。 をまする。 をまする。 をます。 をまする。 をます。 をまする。 をます。 をます。 をます。 をます。 をまする。 をます。 をます。 をます。 をます。 をます。 をます。 をます。 をます	あない <u>務</u> あない <u>負</u> がであるい <u>負がである</u> <u>▼ ▼ </u> ▼ ▼ ▼ 1 ▼ 1 ▼ 1 ▼ 1 ▼ 1 ▼ 1 ▼ 1 ▼	正化余地 集 切切切切	理由 成果を下げ効 理由	力金の単価に でにやり方の工夫 下率的な事務報 部の受益者に傷力 中のを域の農地 もいりり いたもりり	は法令で定められており、 で延べ業務時間を削減できない。 は行に努めており、削減分 っていて不公平ではないか? むが対象であり、公平・公 とが対象であり、公平・公 担い手への農地集積	、削減余地(いか?正職員) 会地はない。 受益者負担が 会立である。 総括(根拠と	以外や外部委託ができないか? 公平・公正か? 二理由) により、農業経営の安定又は	拡大と	
C効率性 D公平性 評価の総	8 人 	削減余地がが 件費(延余地がが 削削減余・費(延余地がが が 費見のでである。 要別である。 を表しいでは、 でいる。 を表しいである。 を表しいできます。 をます。 をまする。 をまする。 をます。 をまする。 をます。 をまする。 をます。 をます。 をます。 をます。 をまする。 をます。 をます。 をます。 をます。 をます。 をます。 をます。 をます	あない <u>務</u> あない <u>負</u> がであるい <u>負がである</u> <u>▼ ▼ </u> ▼ ▼ ▼ 1 ▼ 1 ▼ 1 ▼ 1 ▼ 1 ▼ 1 ▼ 1 ▼	正化余地 集 切切切切	理由 成果を下げ効 理由	力金の単価に でにやり方の工夫 下率的な事務報 部の受益者に傷力 中のを域の農地 もいりり いたもりり	は法令で定められており、 で延べ業務時間を削減できない。 は行に努めており、削減分 っていて不公平ではないか? むが対象であり、公平・公 とが対象であり、公平・公 担い手への農地集積	、削減余地(いか?正職員) 会地はない。 受益者負担が 会立である。 総括(根拠と	以外や外部委託ができないか? 公平・公正か? 二理由) により、農業経営の安定又は	拡大と	
C効率性 D公平性 評価の総括	8 人 「 V 9 受 「 V A B C D	件費(延未地がが 件費(延未地がが 上ででは、	あない 8あない 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	正化余地 集 切切切切	理由 成果を下げ効 理由	力金の単価に でにやり方の工夫 下率的な事務報 部の受益者に傷力 中のを域の農地 もいりり いたもりり	は法令で定められており、 で延べ業務時間を削減できない。 は行に努めており、削減分 っていて不公平ではないか? むが対象であり、公平・公 とが対象であり、公平・公 担い手への農地集積	、削減余地(いか?正職員) 会地はない。 受益者負担が 会立である。 総括(根拠と	以外や外部委託ができないか? 公平・公正か? 二理由) により、農業経営の安定又は	拡大と	
C効率性 D公平性 評価の総括 3		削減余地がが 件費(延余地がが 削削減余・費(延余地がが が 費見のでである。 要別である。 を表しいでは、 でいる。 を表しいである。 を表しいできます。 をます。 をまする。 をまする。 をます。 をまする。 をます。 をまする。 をます。 をます。 をます。 をます。 をまする。 をます。 をます。 をます。 をます。 をます。 をます。 をます。 をます	あない <u>務</u> あない <u>負がある</u> <u>「</u>	正化余地 基果 適適面切 「同意可知」	理 成 理 事 理	力金の単価に では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	は法令で定められており、 で延べ業務時間を削減できない 行に努めており、削減系 っていて不公平ではないか? むが対象であり、公平・公 とが対象であり、公平・公 担い手への農地集積 農地維持を図るため	、削減余地(いか?正職員) 会地はない。 受益者負担が 会立である。 総括(根拠と	以外や外部委託ができないか? 公平・公正か? 二理由) により、農業経営の安定又は		

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果
廃止 「休止 □目的再設定 事業統廃合・連携 □事業のやり方改善(有効性改善) □事業のやり方改善(効率性改善) □現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
農地中間管理機構の推進員と共同して市内の貸出希望農地の掘り起しを行うことにより、より一層 の農地集積に取り組んで行く。	向 上 成 維 来 持 低 下
	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上 しない、もしくはコスト維持で成果低下では 改革・改善とはならない。